

報告事項ク

令和7年度とっとり夢プロジェクト事業の選考結果について

このことについて、別紙のとおり報告します。

令和7年7月7日

鳥取県教育委員会教育長 足 羽 英 樹



## 令和7年度とっとり夢プロジェクト事業の選考結果について

令和7年7月7日  
高等学校課

## 1 概要

本事業は創造力とチャレンジ精神を持った高校生等が、自由な発想で主体的に企画・活動することを支援することとおし、生徒自らの自主性・個性の伸長、学校や地域の活性化につなげることを目的として平成26年度から実施しています。今年度は、選考を通過した以下の13企画を採択し、支援することとしました。

## (1) 「地域デビュー、未来のリーダー」

鳥取西高校 代表 西尾 珠海 (ニシオ タマミ) (採択額 500,000円)

鳥取しゃんしゃん祭において、他校やベテラン連等地域とのつながりをつくりながら参加することで鳥取を盛り上げるとともに、外国人観光客へのPR、小学生との交流、他地域の祭りとの比較等の活動をおし、鳥取を愛し、伝統文化を次世代に繋ぐことで未来のまちづくりに貢献する。

## (2) 「海の気持ちメーター～地元の海を知り、寄り添い、ともに歩む～」

青谷高校 代表 山本 柚花(ヤマモト ユズカ) (採択額 500,000円)

海を「多様な命を育み、人とともに生きる存在」として捉え、その“気持ち”に寄り添う視点から、水質や生物の調査、ごみ拾いと地引き網のセット企画等を他校や大学等と連携して実施する。

## (3) 「スイカとイチゴで循環農業 ～地球温暖化に歯止めをかける優しい農業の探求～」

倉吉農業高校 代表 間屋口 蒼空(マヤグチ ソラ) (採択額 200,000円)

鳥取県の特産品であるスイカの栽培過程で発生する余剰のつるや葉、果実など多くの残渣を堆肥化して活用し、スイカ栽培後に定植時期を迎えるイチゴ栽培で新たなブランドづくりに挑戦する。

## (4) 「第4回星撮県フォトコンテスト」

米子東高校 代表 宇野 權海(ウノ タクミ) (採択額 100,000円)

鳥取県が誇る星空環境についての認知度を上げるため、高校生が主体となって若者に星を見るきっかけを作ることとし、フォトコンテストや星空写真撮影会を開催する。

## (5) 「わけあり梨から始める食品ロス対策で地元のPRを目指す！」

米子南高校 代表 上定 優奈(ウエサダ ユナ) (採択額 210,000円)

「わけあり梨」を活用した商品のレシピを考案し、企業と連携して商品開発、イベントでの販売等に挑戦し、食品ロスに貢献するとともに、地元の食材のPRを行う。

## (6) 「みなと生徒会eスポーツ部」

境港総合技術高校 代表 深田 洋樹(フカダ ヨウキ) (採択額 500,000円)

「eスポーツ」やボードゲームなど「エコスポート」をおし、世代を超えたコミュニケーション環境を作ること、で、「人が集まり、賑わうまち」づくりを基礎とした地域活性化を目指す。

## (7) 「日野高校生による日野高校魅力向上プロジェクト」

日野高校 代表 内田 鳩(ウチダ ハト) (採択額 160,000円)

郡内の人口減少が進む日野高校において、県内生と県外生が協働して、多様な視点から地域及び学校の魅力化3ヵ年計画を作成し、本年度は仮説検証を目的として「キャンプDAYがある学校」、「小動物がいる学校」等、学校の特色に沿った1日イベントの実施や効果検証を行う。

## (8) 「古着リメイクプロジェクト」

青翔開智高校 代表 渡邊 響子(ワタナベ キョウコ) (採択額 130,000円)

消費者がファッションを楽しむ過程で無意識にエシカルな行動に繋がることを目的とし、企業と連携した古着リメイク等に取り組み、環境への負荷軽減や労働環境改善の必要性を知る機会とファッションの楽しみ方を提供するイベントを開催する。

## (9) 「ウォーキング×ハロウィン～地域の多世代を笑顔でつなぐ」

倉吉北高校 代表 西口 晴流(ニシグチ ハル) (採択額 280,000円)

ハロウィンの時期に高校生が様々な仮装をして道中の保育園や幼稚園、介護福祉施設、周辺店舗などで生徒が調理したお菓子を配布し、倉吉式のハロウィンイベントへの発展を目指す。

(10) 「唾液アミラーゼ活性を指標とした安価で簡易的なストレス評価装置の開発」  
米子高専 代表 稲井 雅 (イナイ ミヤビ) (採択額 420,000円)

現代社会の問題として挙げられる「ストレス」の客観的な評価方法として唾液中のアミラーゼ分泌量に着眼したストレス評価装置を開発し、自己の状態把握や早期対処の実現を目指す。

(11) 「鳥取から火星へ～火星移住用建材製作～」  
米子高専 代表 鐘築 昇太郎 (カネツキ ショウタロウ) 採択額 320,000円)

人類の将来的な火星の探査・移住を見据え、自作で火星移住を想定した建材を製作することを目指し、火星の砂(レゴリス)を材料に想定した自作コンクリートの製作に挑戦する。

(12) 「走力向上 AI コーチングアプリの開発～ドローン撮影の導入による新しい動作解析手法の提案～」

米子高専 代表 梅田 優太 (ウメダ ユウタ) (採択額 380,000円)

“走りのコーチング”を行う AI アプリ開発を、ドローンを用いた上空からの走行動作撮影を導入して取り組み、鳥取県の小中高生のスポーツ競技力の向上につなげることを目指す。

(13) 「2025 大阪・関西万博出展を目指した地域文化×アート×プログラミングによる作品作り～最終調整および万博展示～」

米子高専 代表 上阪 彩子 (ウエサカ アヤコ) (採択額 300,000円)

地元の観光資源(妖怪・花など)を、アート×デジタルの作品制作を通して現代版にプロデュースし、大阪・関西万博で展示するための最終準備を行う。

## 2 応募状況

15企画

## 3 選考までの経緯

4月8日 県内高等学校、特別支援学校高等部及び米子工業高等専門学校に  
募集通知を发出  
5月9日 受付締切  
1次(書類)審査(15企画)  
6月14日 2次(プレゼンテーション)審査(13企画)  
6月20日 審査結果通知

## <2次審査会の様子>

リモートによる審査。自らの企画をプレゼンテーション。



審査員からの質問にも熱心に応答。

